

## 令和2年度教育委員会の事務の管理及び執行の状況に関する点検・評価報告書について

## 1 令和3年7月15日教育委員会会議におけるご意見への対応について

頁	意見内容	対応等
-	【保護者アンケート】 保護者アンケートの結果を一覧でまとめてほしい。 Webアンケートの実施方法等について記載を入れたほうが分かりやすい。	保護者アンケートの結果を一覧でまとめたページを追加する。(P9) あわせて、Webアンケートの実施方法等について説明を追加する。(P8)
-	【保護者アンケート】 保護者アンケートにおいて、「特別支援教育」や「いじめ」について「わからない」の割合が多いのは問題である。	「特別支援教育」について、「わからない」の割合が増加した理由として、コロナの影響で学校行事や学習参観などが中止になったことにより、保護者が学校の取組みを見る機会が減ったことが原因と考えている。今後は、各学校が、特別支援教育に関する積極的な発信を行っていくことが、「特別支援教育」について多くの方に知っていただくきっかけになると考えており、発達教育センターとしても、学校に対し、積極的な発信について働きかけていく。 「いじめ」について、「わからない」の割合が増加した理由として、取組みが多岐にわたるため、これらの取組みが「いじめ」の取組みとして十分に認識されていないことが原因であると考え。これらの取組みを保護者にしっかりと伝えていく。
-	【その他】 施策のうち令和2年度の新規事業については太字にしたり、色を変えるなどすれば見やすくなるのではないか。	令和2年度の新規事業については、事業名に【新規】と記載する。
-	【その他】 少人数学級の実施など、新型コロナウイルス感染症対策の一貫として教育委員会全体で取り組んだことについて記載してはどうか。 一連のコロナ対応(授業時数や単位時間の短縮、行事等の中止、教職員の負担増、児童生徒の困り感など)に係る総括を報告書に盛り込まないのか。	新型コロナウイルス感染症への対応に係る総括をP4上部に追加する。
P15	【子ども日本語サポートプロジェクト】 教育センター移転を契機に、教材教具の展示スペースを設置するなど、福岡市の教員が活用できるよう一層の充実を図ってほしい。	日本語サポートセンターが教育センター内に設置されたことで、福岡市の教員及び日本語指導員が利用しやすくなっており、今後、教材教具等の展示スペース設置に向けて準備を進めていく。
P19	【学校における人権教育】 コロナ禍における様々な人権課題が顕在化しているが、「ぬくもり」については、今後の改定の見通しはあるのか。	現在改訂の予定なし。活用状況を調査しながら、今後検討する。
P22	【体力向上推進事業】 体力運動能力の状況については、令和元年度までは初期値から横ばいの状況であるが、令和2年度はコロナの影響により低下が予想される。運動習慣についても低位で推移している。生活様式が大きく変わったこと、個人の格差が大きくなっていることが課題であると考えている。効果的な取組みを行っている学校の事例を紹介するなどの工夫も必要と考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。	神戸市ではICT事業者と連携し、運動能力テスト以外においても運動能力の見える化を行ったり、GIGA端末の活用により自宅等でも実践できる運動動画の紹介など、適切な運動習慣の定着を図るための取組みを行っているようである。また、大学等との連携により運動習慣の定着に向けた実証実験を行う都市もあった。福岡市においても、自己の課題に即して、業間に運動を取り入れている学校もある。今後、クラウドに動画を掲載するなど、体力向上に向けた一層の取組みを行っていく。
P31	【医療的ケア支援体制整備】 「第3号研修」については具体的などのようなものか分からないため、説明を入れたほうが良いのではないか。	用語解説に追加する。(P87・注16) →児童生徒など特定の者に対して、必要な医療的ケア(喀痰吸引、経管栄養)の実施が可能となる研修。 介護サービスの基盤強化のための介護保険法等の一部を改正する法律により、介護福祉士や一定の教育を受けた介護職員等(教員を含む)による喀痰吸引等の実施が可能となった。

P31	<p>【医療的ケア支援体制整備】 適切な看護師配置とは、現状で何名程度の増員が必要と考えているのか。</p>	<p>看護師の配置については、手技の内容等にもよるため、具体的に何名必要という見通しは立っていない。毎年、小中学校には医療的ケアが必要な子どもが入学してきており、また、特別支援学校においても医療的ケアが必要な子どもの手技が複雑になったり、人工呼吸器の管理など高度な内容も入ってくることを踏まえると、単純な人数だけでは看護師配置の適切さを判断するのは難しい。今後も、医療的ケアの必要な児童生徒の状況をみながら、適切に配置を行っていく。</p>
P33	<p>【魅力ある高校教育の推進】 博多工業高校、福岡女子高校で定員を満たしていないことは大きな問題ではないか。</p>	<p>今後、新たな選抜制度の実施による多様な生徒の入学を契機に、更なる学校の活性化につなげていくとともに、各学校の取組みや成果を広く周知するための広報のあり方についても検討を進める。</p>
P45	<p>【資質ある優秀な人材の確保】 教員採用試験の倍率の目標値が6.5倍となっているが、やや目標が高すぎるのではないか。目標値を設定するにあたっての考え方や目標値を修正する考えはないのかについて尋ねる。</p>	<p>採用試験倍率については、前計画の「新しいふくおかの教育計画」の後期実施計画における目標値である。設定時期は平成24年であるが、当時は倍率が6倍程度であったことから、そこまで困難な数字ではないという認識であった。現行計画においても、目標値をそのまま継続したものであるが、目標値が現状と乖離しているため、次期計画に向け、検証は必要であると考えている。</p>
P45	<p>【資質ある優秀な人材の確保】 新規採用教員が、早期に病気休職や退職に追い込まれる実態がある。環境要因の改善にさらに取り組んでいく必要があると考えるが所見を伺いたい。</p>	<p>初任者の養成については、退職校長などの拠点校指導教員が6人程度の新規採用職員を1年間かけてしっかり指導していく体制としている。また校内においても、指導教員をおいて初任研という形で指導を行っている。引き続き、教育委員会、学校が連携して支援に努めていく。</p>
P56	<p>【自動音声メッセージ機能付き電話整備】 中学校は自動音声メッセージ機能付き電話を付けただけでは、業務時間の短縮は難しいのではないか。受験シーズン前は特に忙しく、改善策が必要であると考えている。</p>	<p>業務時間外における教員の電話対応が減ることは、教員の負担軽減に資するものと考えているが、電話整備の取組みに限らず、引き続き、学校の負担軽減のための各種取組みを進めていく。 現在、令和4年度に向けて、「福岡市立学校教職員の業務改善のための実施プログラム」のリニューアルを予定しており、学校現場の意見等も踏まえ、効果的な取組みを検討する。</p>
P60	<p>【子どもの安全対策】 通学路の見直しは重要であるが、待ち合わせの時間も非常に危険であると感じている。待ち合わせの場所や待ち方など保護者にも注意喚起を行ってほしい。</p>	<p>児童生徒への交通安全指導の際に、登下校時の待ち合わせ等の時間の安全指導を行うとともに、保護者等への啓発を行っていく。</p>
P60	<p>【子どもの安全対策】 子どもの交通事故が多いが、大人が交通ルールを守れていない現状がある。子どもたちばかりに安全を強いるのではなく、大人が示さなければならぬのではないか。</p>	<p>市民局等関係機関と連携して、PTAを通じて保護者等へ交通安全に関する普及啓発を検討していく。</p>
P60	<p>【子どもの安全対策】 通学路の状況が変わっている地域もあり、それを教員が知らないということもある。先生方や学校側が通学路の状況について把握することが重要ではないか。</p>	<p>毎年、通学路の安全点検を行っている。その際に交通量等、通学路の状況について確認をしていく。</p>
P64	<p>【家庭教育支援事業(PTAとの連携事業)】 「早寝早起き朝ごはん」啓発講演会については、コロナで開催ができなかったことは理解するが、学校から家庭での生活習慣について働きかけるのは難しい。講演会に来られる方はそれが実践できそうな方が来られるので、そうではない方に伝える方法を考えていく必要があるのではないか。</p>	<p>令和3年度は、教育センターにおいて、医師に講演いただいた映像を収録し、各家庭に「福岡 TSUNAGARU-Cloud」を活用して配信を行った。7/6～7/9の期間終了後も閲覧したいとの要望をいただいているため、再配信などについても検討している。</p>

## 2 その他の修正箇所

頁	該当箇所	修正前	修正後	修正理由
P30	●特別支援学級の整備 「実施内容」	○難聴特別支援学級新設 (那珂小1学級)  ○自閉症・情緒特別支援学級新設 (長丘小2学級、長丘中1学級)	○削除  ○自閉症・情緒特別支援学級新設 (田島小、福重小、南当仁小、多々良中、当仁中 各1学級)	誤記によるもの。
P30	●通級指導教室の整備 の「実施内容」・「成果」	(実施内容) 新設 → 城香中2教室 増設 → 有住小1教室、城浜小1 教室、福浜小1教室  (成果) ○通級指導教室の対象となった児童 生徒の増加に対応した。特に、中学 校通級指導教室新設を行ったこと で、発達障がい等のある生徒への指 導・支援の体制が充実した。	(実施内容) 新設 → 有住小2教室 増設 → 城浜小1教室、城原小1教 室  (成果) ○通級指導教室の対象となった児童 生徒の増加に対応したことで、発達 障がい等のある生徒への指導・支援 の体制が充実した。	誤記によるもの。
P42	●「学生サポーター」制 度活用事業 「実施内容」○の3つ目	○大学生が安心して活動できるよ う、教頭を対象に制度の説明会を实 施した。	削除	令和元年度までは、全学校の 教頭に制度について説明して いたが、令和2年度から廃止と したため。
P48	「●調査研究」の「実施内 容」の最終行	新学習指導要領全面実施に備えた 授業提供を行った。	新学習指導要領全面実施に備えた 情報提供を行った。	より一般的な分かりやすい文 言に整理したものの。
P53	●校舎増築「実施内容」	・今宿小学校の防球ネット新設工事 ・春住小学校の仮設グラウンド整備 工事	削除	実施内容と成果で記載内容が 重複しているため。
P60	●子どもの安全対策「成 果」 ○の3つ目	○「登下校防犯プラン【文科省】に基 づく、各小学校の通学路における緊 急合同点検の際、「安全マップを活 用し、適切な安全点検を実施するこ とができた。	○「登下校防犯プラン【文科省】に基 づく、各小学校の通学路における合 同点検の際、「安全マップを活用し、 適切な安全点検を実施することがで きた。	合同点検は「緊急」ではなく、 毎年実施しているため。
P69	●図書館資料収集等「成 果」	【文書資料部門】 ・公文書531冊、行政資料1,067冊、 古文書資料1,612点、郷土資料918冊 (福岡文学資料を含む)、文学館資 料299点を収集した。	【文書資料部門】 ・公文書530冊、行政資料1,067冊、 古文書資料1,612点、郷土資料918冊 (福岡文学資料を含む)、文学館資 料299点を収集した。	誤記によるもの。